

観光地タイプ別にみる観光が作用した 地域課題とその改善方策に関する研究

* 大分大学大学院工学研究科博士前期課程

** 大分大学理工学部・准教授 博士（工学）

○宇土沙希 * 姫野由香 ** 長弘颯太郎 *

1. 研究の背景と目的

2016 年頃から、一部の観光地で、観光客の著しい増加による住民生活の質や観光客の体験の質への悪影響といったオーバーツーリズムが問題視されている

現在、適切な観光地マネジメントのあり方が世界共通の課題とされている¹⁾²⁾

観光

宿泊業、伝統工芸・農林水産等の関連産業の裾野が広い

地域の経済・雇用を支えるとともに、地域資源の維持・発展にも資する効果³⁾

日本各地の地域経済の衰退・産業の担い手不足等の地域課題の改善に作用している事例も複数報告されている⁴⁾⁵⁾

このような事例の全体を俯瞰した、地域課題の改善方策の傾向を明らかにした研究や報告は確認できない

目的

観光が地域課題の改善に作用した事例に着目し観光地の特性に応じた地域課題の改善策の傾向を明らかにする

【参考文献】

- UNWTO「Overtourism? – Understanding and Managing Urban Tourism Growth beyond Perceptions,(Executive Summary)」2018 年、p.4https://www.e-unwto.org/doi/epdf/10.18111/9789284420667(2024 年 2 月 13 日最終閲覧)
- 観光庁・UNWTO 駐日事務所「日本版持続可能な観光ガイドライン」2020 年 6 月 https://www.mlit.go.jp/kankochu/content/001350849.pdf(2024 年 2 月 13 日最終閲覧)
- 観光庁「アタラシロクを見据えた観光地・観光産業の再生に向けて～輝ける地域・輝ける産業の実現～（最終とりまとめ）」令和 4 年 5 月 https://www.mlit.go.jp/kankochu/linkai/content/001483896.pdf(2023 年 12 月 7 日最終閲覧)
- 堀山典史、西山清明(2021,10)「未利用地域資源の活用による観光まちづくりの発展プロセス―比較分析に基づくインターナル・マーケティングの有効性に着目して―」(社)日本都市計画学会都市計画論文集、No.3,pp.1231-1238
- 公益財団法人日本離島センター「季刊しま 離島振興法改正」第 68 巻、第 4 号、令和 5 年 3 月 31 日

3. 地域課題と取り組みの特徴

3.1 立地と観光資源による事例の類型化

表 1 の立地タイプと観光資源タイプから、8 つの地域特性の類型を設定した(図 1)

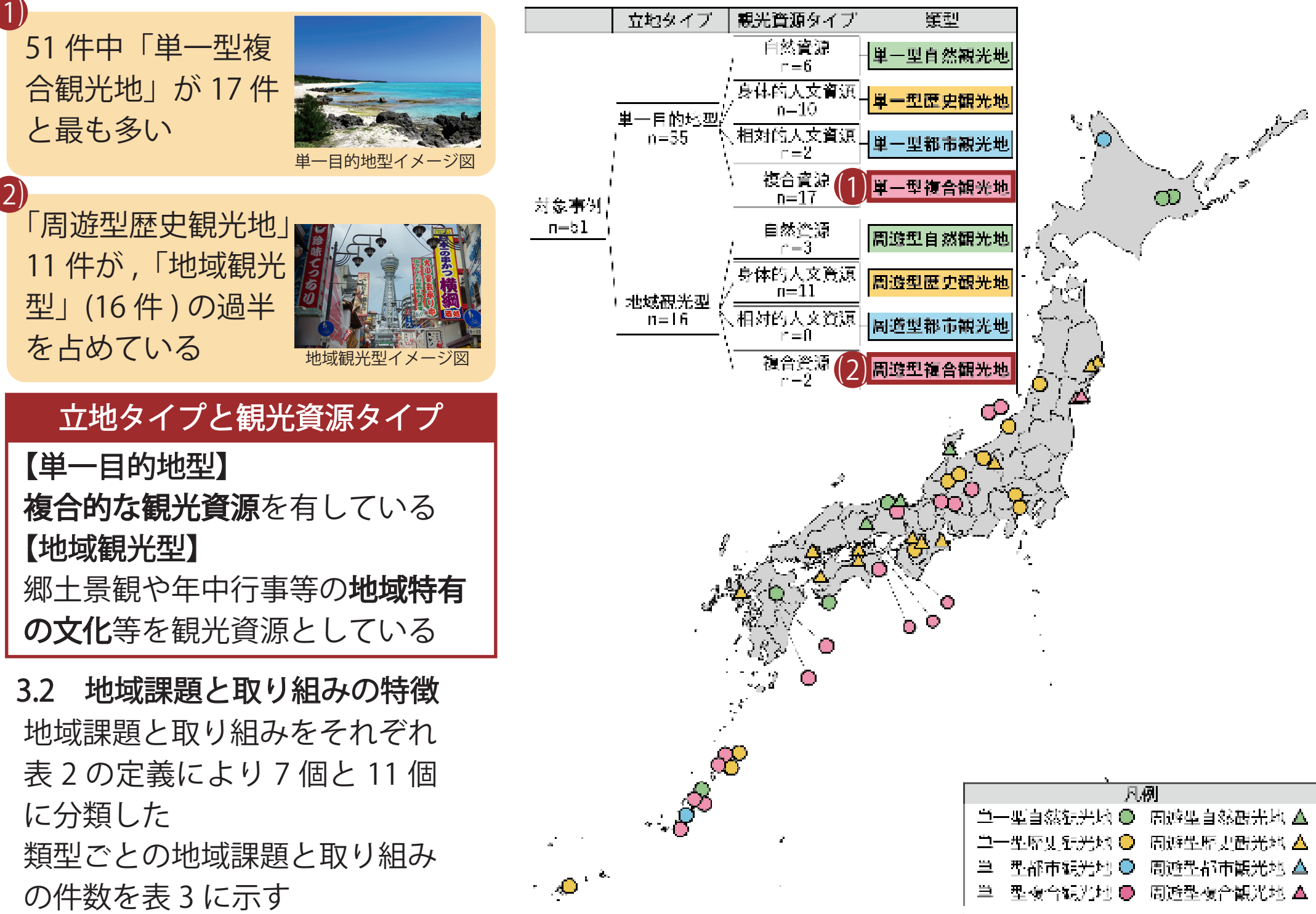


表 2 地域課題と取り組みの定義

		定義	
地域課題	1 人口減少	人口減少、少子高齢化、過疎化、空き家の増加	
	2 農林水産業衰退	農林水産業の担い手不足や活動継続、生産量の低下、耕作放棄地の増加	
	3 地域工芸・工業衰退	伝統工芸の後継者不足、工芸品の生産量や売り上げの低下、技術の継承問題	
	4 自然環境問題	動植物の減少、自然環境の悪化	
	5 地域文化の継承問題	集落の存続、伝統文化の人手不足や継承問題	
	6 災害復興	災害からの復興	
	7 インフラ・観光問題	交通による環境負荷や公共交通運賃の高騰化、交通渋滞、観光を要因とする課題	
	1 制度・計画策定	計画やルールへの策定、制度の創設や導入	
	2 団体設立	観光や地域課題の改善に特化した独自の課の設置等	
	3 施設整備	公共性の高い公園や施設、設備の整備、レンタサイクル等	
	4 民間施設整備	民間事業者による店舗の開設等	
取り組み	5 広告活動	新聞の創設、テレビや SNS による宣伝等	
	6 調査	モニタリング調査やアンケート調査の実施	
	7 資金調達	入湯税等の税金の徴収、ファンドの組成、財源の確保	
	8 商品開発	特産品等の商品や体験プログラムの開発・販売	
	9 担い手育成	担い手や人材の育成のための事業の実施、ガイドの養成等	
	10 イベント開催	イベントやお祭りの開催	
	11 環境保全	清掃活動や農法の開発、食品残渣の活用等	

表 3 類型ごとの地域課題と取り組みの件数

項目	類型	自然 観光 光 地		歴史 観光 光 地		都市 観光 光 地		複合 観光 光 地		自然 周 邊 光 地		歴史 周 邊 光 地		都市 周 邊 光 地		複合 周 邊 光 地		件数 / 割合	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%		
地域課題																			
1 人口減少		3	30%	0	0%	1	33%	7	21%	1	25%	2	15%	0	0%	1	33%	15	19%
2 農林水産業衰退		1	10%	3	25%	1	33%	6	18%	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%	12	15%
3 地域工芸・工業衰退		0	0%	2	17%	0	0%	3	9%	1	25%	2	15%	0	0%	0	0%	8	10%
4 自然環境問題		4	40%	0	0%	0	0%	8	24%	1	25%	0	0%	0	0%	0	0%	13	16%
5 地域文化の継承問題		1	10%	7	58%	1	33%	7	21%	0	0%	5	38%	0	0%	0	0%	21	27%
6 災害復興		0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	2	15%	0	0%	1	33%	4	5%
7 インフラ・観光問題		1	10%	0	0%	0	0%	2	6%	0	0%	2	15%	0	0%	1	33%	6	8%
計		10	100%	12	100%	3	100%	34	100%	4	100%	13	100%	0	100%	3	100%	79	100%
取り組み																			
1 制度・計画策定		4	25%	1	5%	2	33%	12	21%	0	0%	7	18%	0	0%	2	50%	28	19%
2 団体設立		2	13%	1	5%	1	17%	3	5%	1	17%	5	13%	0	0%	0	0%	13	9%
3 施設整備		1	6%	2	10%	2	33%	8	14%	0	0%	4	11%	0	0%	0	0%	17	12%
4 民間施設整備		1	6%	3	15%	0	0%	2	4%	2	33%	2	5%	0	0%	0	0%	10	7%
5 広告活動		1	6%	1	5%	0	0%	2	4%	0	0%	1	3%	0	0%	1	25%	6	4%
6 調査		1	6%	1	5%	1	17%	4	7%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	8	5%
7 資金調達		1	6%	1	5%	0	0%	2	4%	4	17%	4	11%	0	0%	0	0%	9	6%
8 商品開発		4	25%	4	20%	0	0%	10	18%	1	17%	4	11%	0	0%	1	25%	24	16%
9 担い手育成		0	0%	3	15%	0	0%	6	11%	0	0%	4	11%	0	0%	0	0%	13	9%
10 イベント開催		0	0%	3	15%	0	0%	5	9%	1	17%	6	16%	0	0%	0	0%	15	10%
11 環境保全		1	6%	0	0%	0	0%	3	5%	1	17%	0	0%	0	0%	0	0%	5	3%
計		16	100%	20	100%	6	100%	57	100%	7	100%	38	100%	0	100%	4	100%	148	100%
該当事例数		6		10		2		17		3		11		0		2		51	

5. まとめと今後の課題

【観光が地域課題の改善に作用している観光地の立地条件や観光資源の種別の傾向】

範囲が狭小な地域では観光による改善策の効果が発揮しやすい可能性がある
自然資源や郷土景観等の地域特有の資源を複合的な観光資源として利用している

【地域課題と取り組みの傾向】

観光が作用した地域課題は、「人口減少」や「自然環境問題」、これに係する「農林水産業衰退」や「地域文化の継承」も多い

地域課題への取り組みは、「制度・計画策定」や「商品開発」が活発に行われている

【地域課題の改善方策の事例の詳細】

単一の課題や、サンゴの白化現象や海岸環境の悪化などの類似した複数の地域課題に対して、複数の取り組みによる改善が図られていた
地域の観光資源を活用した資金調達の仕組みの構築や体験型の観光商品の開発・販売、SNS を活用した広告活動等の取り組みも行われている

2. 対象事例の立地と観光資源の特徴

2.1 対象事例の選定方法

・地域活性化等に関する文献 ^{6)～14)}	16 件	観光が地域課題の改善に作用している事例計 51 件を研究対象とする
・観光庁の「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集」 ^{注 2)}	115 件	
・「GDTOP100」 ^{注 3)} の国内事例	39 件	

2.2 対象事例の立地と観光資源の特徴

対象事例 51 件を、立地タイプと観光資源タイプによって分類したものを表 1 に示す

表 1 立地タイプと観光資源タイプの定義と件数

	定義	件数(件)/割合
立地タイプ	単一目的地型	事例に示される観光地内で、観光客の分散が不可能、または、観光客の総量規制が一定程度可能な場所
	地域観光型	事例に示される観光地内で、観光客の分散が不可能、または、観光客の入場を制限できない場所
観光資源タイプ	自然資源	山岳、高原・温泉・原野・湖沼、河川・峡谷、滝、海岸・岬、岩石・洞窟、動物、植物、自然現象、温泉
	身体的人文資源	史跡、神社・寺院・教会、城跡・城郭・宮殿、集落・街、郷土景観、庭園・公園・橋・塔、年中行事、建造物、食
	相対的人文資源	動植物園・水族館、博物館・美術館、テーマ公園・テーマ施設、芸能・興行・イベント
	複合資源	複数の観光資源タイプを有する
	計	51/100%

立地と観光資源の特徴

範囲が狭小な地域では観光による改善策の効果が発揮しやすい可能性がある
日本では一般的に、自然資源を利用した産業や町並みの観光地が多いためである

【補注・参考文献】

- 注 2) 参考文献の 2)16)7)の 3 つの事例集を指す。
- 注 3) Green Destinations の「公式ホームページ」よりレポートが確認できた 2020 年から 2023 年の GDTOP100 の国内事例を指す。
- 7) 瀧山佳恵、須賀文、畑中健一郎(2022)「長野県田原町における木曾馬文化を活用した草地保全の取り組み」(社)日本地理学会日本地理学会発表要旨集
- 8) 渡辺安菜、岡村祐、堀朱莉、菅井純也(2022,12)「諏訪集落の観光化に関する事例調査―御宿山・羽黒山・大山・戸隠御宿集落の立地や施設設備状況に着目して―」第 37 回日本観光研究学会全国大会「学術論文集」pp.215-220
- 9) 堀山典史、吉澤清貴、堀永香(2015)「温暖地における安定的なまちづくり財源に関する研究―入湯税を中心として―」日本観光研究学会機関誌、No.1,pp.91-100
- 10) 竹田実子、小林善隆(2020,6)「長崎県佐賀町の観光経済：農業と商業の産業観光」長崎県立大学論集（経営学部・地域創造学部）第 54 巻第 1 号
- 11) 河本大地、重永剛、菊川剛太、森下航平、西山幸志、渡邊一輝、小林友莉、石川聡一郎、原川優羽紀、高原佳穂(2023)「柿産地としての奈良県五條市における生産、流通と担い手―「日本一の柿のまち」の課題と可能性―」(社)日本地理学会日本地理学会発表要旨集
- 12) 武田美穂(2020,3)「徳島県海部郡美波町における道路沿道を活用した地域活性化に関する考察」日本インテリア学会論文報告集、30 号
- 13) 町田知未(2021)「北海道中川町における地域資源の観光利用に至る過程と主体間の相互関係」(社)日本地理学会、日本地理学会発表要旨集
- 14) 斎藤博(2020,3)「駅後文化による地域活性化に関する研究―インバウンド観光の視点に基づく―」福知山公立大学研究紀要、第 3 号、pp.151-164
- 15) 梶場将司、原田一宏(2022)「地域資源としての大島輪の生産の現状と存続に向けた取り組み―奄美大島の事例」環境情報科学術研究論文集、pp.185-190
- 16) 観光庁「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集 2020 年度」https://www.mlit.go.jp/kankochu/content/001395438.pdf(2024 年 2 月 13 日最終閲覧)
- 17) 観光庁・UNWTO 駐日事務所「持続可能な観光の実現に向けた先進事例集」2023 年 3 月 https://www.mlit.go.jp/kankochu/content/001610480.pdf(2024 年 2 月 13 日最終閲覧)

4. 選出した事例の詳細

地域課題の改善方策の詳細を把握するため、対象事例 51 件から、7 事例を選出し、文献等によって詳細に調査を行った(表 4)

自然観光地	A. GDTOP100 や観光庁の先進事例集で紹介されている事例 B. 複数の取り組みが確認できる事例 両方に適合する事例を、図 1 に示す各類型から 1 件ずつ選定した ^{注 4)}	
	表 4 選出した事例の概要	
	①単一型自然観光地 沖永良部島	②周遊型自然観光地 宮津市
	③単一型歴史観光地 竹富町	④周遊型歴史観光地 大津市
	⑤単一型都市観光地 沖縄県	⑥単一型複合観光地 与論島
	⑦都市観光地	⑧複合観光地
	⑨複合観光地	⑩複合観光地

自然観光地
人口減少
生業の担い手不足
伝統工芸の後継者不足

観光振興計画の策定や
体験型アクティビティ等の
商品開発
保存会の設立や藤織り体験を
組み込んだツアーの企画

歴史観光地
集落と文化の保全
歴史的建造物の消失

保全団体の設立や環境保全活動のための入島料の徴収
行政や金融機関等の連携による DMO の設立、まちづくりファンドの組成による町並みを再生する事業の資金調達

都市観光地
空手の保存・継承
沖縄空手振興ビジョンの策定や、交流拠点「沖縄空手会館」の利用

複合観光地
サンゴの白化現象や海岸環境の悪化
震災の被害による観光資源の壊滅

海洋ゴミの清掃や珊瑚礁のチェックの体験プログラム化
観光計画の策定や官民協力による観光商品の開発

地域課題と取り組みの傾向

【自然観光地】

地場産業の担い手不足等の地域課題に対して、特産品や体験型のプログラムの開発・販売等の商品開発が取り組まれていた

【歴史観光地】

集落・文化等の保全に対して、保全活動等を行う団体の設立や、資源保全のための活動資金を調達する仕組みの構築が取り組まれていた

【都市観光地】

空手等の芸能の保存・継承といった地域課題に対して、振興計画等の制度・計画策定が取り組まれていた

【複合観光地】

海岸環境の悪化や震災による観光資源の壊滅に対して、新聞やテレビ、SNS による広告活動や体験プログラム等の商品開発が取り組まれていた

【補注】注 4) 条件②に適合する事例が 2 件以上あった場合は、取り組みの数が最も多い事例を選出した。また、対象事例 51 件内に周遊型都市観光地に該当する事例がなかったため、選出できなかった